

サービスイリア、昔からの知合い、この1年お世話になったあなたに。ブログもチェックください。

## 村田 英男の気まぐれ

# 寒中見舞い

### ◆毎年年末に発送の年末状、病院で越年した為、年を越しての発送となった。

▼今年はずー君と安積山に2回安達太良山に一回銚子が滝に一回おっぱなしで行った。内二回は若い女性同行、その時は勝手に遠くに行かないのでこちらも楽です。▼昨年、三春滝桜の満開を見る事が出来なかった大学時代の同級生が大勢で再来。▼四月の爆弾低気圧で展望風呂の屋根が飛ばされ修復に苦労した。▼露天風呂も水漏れ状況。こちらは夏休み明けにリニューアル。儲けが出そうになると修繕費が発生するのが旅館業。▼

十年務めた磐梯熱海温泉旅館組合長の職は総会時点で辞めさせて頂いた。▼そのエネルギーを安積歴史博物館の公益財団化に。世間の人は目に見える震災後の修復に目が行く。しかし、財政基盤が弱い財団に絶対欠かせないのは目に見えない公益法人化だ。十一月末に滑り込み設立登記完了。平成二六年三月まで事務局、執行理事として勤めあげる予定。▼同じ敷地の安積高校では四月の1か月放課後に新入生に徹底的に十曲近くの応援歌を仕込む。六十年も前からの伝統行事で有る。様変わりしたのは『強い女(応援団長)の言う事を聞く、弱い男たち』の風景▼街こおりやまの連載も

六年七二回でこちらから申し出て、止めさせて頂いた。▼フェイスブックとブログから話題を拾おうとしたがそんなにトピックが無い年だったが・・・▼気が付いたら歩き方が何ともジジ臭い。痴呆症かと病院にいろいろと検査してもらった。その矢先、血液検査で大きな病気を発見。腎機能が落ちてると十二月になって入院。回復の手立ては殆ど無く。食事療法のみ。▼九十才を越した母が病院に来た。曰く「私の腎臓上げるから先生頼んで」美しき母性愛。先生には一笑にふされた。▼一週間程度で退院出来ると思ったが二週間、三週間と延び年末に。「病院に居てもらおうとすごく助かる」と嫁の提案を受け入れ、

病院で越年となった。▼仕事柄通常正月は多忙で録画でだけ見ていたウィーンフィルのニューイヤークンサートを入院先のベッドで。箱根駅伝もテレビにかじりついて見てしまった。そして気が利く嫁は私宛の賀状を持って来て呉れた。▼特に自覚症状の無い退屈な病人はパソコンを病院に持ち込む事を考え付き快適度が上昇。この文書、病院内でほぼ作り上げ一月十一日に退院。▼ミルクィ、ラム、グー忘れずに迎えてくれた。▼星総合病院の先生、看護師さん、同級生の吉田孝雄さん、小滝千尋さん、私の留守中マール君の散歩はじめ、私のすべきことをして下さった従業員のみなさん、何よりも嫁さん、大変ありがとう